

製品名: チミジンキナーゼウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18899**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	TK1
別名	TK1; Thymidine kinase; cytosolic
遺伝子 ID	7083.0
SwissProt ID	P04183
免疫原	抗血清はヒト KITH 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

背景

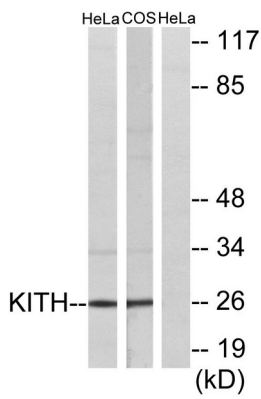
触媒活性: ATP + チミジン = ADP + チミジン 5'-リン酸。、その他:動物細胞では2つの形態が同定されており、1つは細胞質に、もう1つはミトコンドリアに存在します。細胞質酵素の活性は増殖細胞で高く、細胞周期のS期にピークに達します。休止細胞では非常に

低くなります。 ,PTM:有糸分裂中に Ser-13 がリン酸化されます。 ,類似性:チミジンキナーゼファミリーに属します。 ,触媒活性:ATP + チミジン = ADP + チミジン 5'-リン酸。 ,その他:動物細胞では 2 つの形態が同定されており、1 つは細胞質に、もう 1 つはミトコンドリアに存在します。細胞質酵素の活性は増殖細胞で高く、細胞周期の S 期にピークに達します。休止細胞では非常に低い。 ,PTM:有糸分裂中に Ser-13 がリン酸化される。 ,類似性:チミジンキナーゼファミリーに属する。 ,

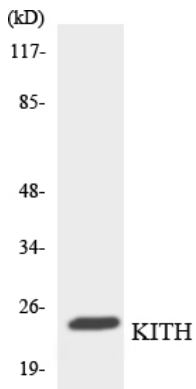
研究分野

ピリミジン代謝;薬物代謝;

画像データ



KITH 抗体を用いた HeLa 細胞および COS7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



KITH 抗体を使用した RAW264.7 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。